

事務事業名	公用車管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
政策名	総合計画 推進計画	所属G	財産台帳整備G	課長名	黒田美邦
施策名	37 時代にあった行政サービスの実現	担当者名	藤原直樹	電話番号 (内線)	0854-40-1025 3558
基本事業名	108 業務と組織機構の見直し	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 110 05 30 03	公用車管理事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	市が所有、貸与(リース)を受けている車両(以下「公用車」という)の管理。 1. 公用車の取得及び処分並びに自動車検査の受検。 2. 公用車の利用調整。 3. ガソリンの給油、オイルの補給等及び故障修繕等。 4. 交通事故の処理。	合併にあたり、職員の異動による増減にあわせ、公用車も各町村から本庁へ台数集約をおこなった。実質の管理は、各部局で実施している。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	燃料費:1,728,569円 保険料:2,889,980円 賠償金:187,290円 公課費:80,000円	消耗品費:63,707円 手数料:220,755 使用料・貸借料:258,500 修繕費:1,773,913円	事業費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	公用車の購入伺、契約、保険加入、車両台帳手入れ。廃車執行伺、保険解約、車両台帳手入れ。車検執行伺、公告、現車見積、入札、検査、支払。		正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	人 時間 千円	1 480 1,831	1 830 3,227	1 655 2,582	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)			事業費計(A)	千円	9,970	7,041	7,202	8,118	0	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ①公用車の取得及び処分並びに自動車検査の受検 ②公用車の利用調整 ③ガソリンの給油、オイルの補給等及び故障修繕等 ④交通事故の処理 ⑤自動車損害共済業務 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 23年度に同じ	⑤ 活動指標	台	164	160	156	156		
		ア 公用車台数	台	164	160	156	156		
		イ 事故発生件数	件	19	12	19	0		
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	公用車	⑥ 対象指標	台	164	160	156	156		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標	台/人	0.28	0.28	0.27	0.27		
	・集中管理による公用車の削減 ・公用車を適正な状態で運転できるように管理する。	ア 職員一人当たりの公用車台数	台/人	0.28	0.28	0.27	0.27		
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標	%	41.3	41.1	41.1			
	時代に対応した適切な行政サービスを受けられるようにする。	ア 市役所が市民にとって親しみ易く、利用しやすいと感じる市民の割合	%	41.3	41.1	41.1			
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
財政状況が逼迫しているため、経常経費削減が求められている。	本庁・分庁部局の公用車の車検について、車検箇所を業者で合同で目あわせをおこない、一般競争入札方式に変更した。	地域要望で「公用車はなるべく軽自動車にするように」というものがある。また、公用車の台数・配置等につき、管理計画を策定するよう指摘を受けている。一方職員からは普通自動車の貸し出し要望が多くあり、普通車と軽自動車との保有バランスも合わせて検討する必要がある。

事務事業名	公用車管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 公用車を適切に管理することは、行政の効率化に寄与する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 公用車の車両管理者が当然行うべき業務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市所有の公用車であり、限定、追加はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 公用車を年次・計画的に更新すれば、消耗修繕費といった経費が削減・管理することができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止の場合、各部局で業務が重複し、迅速・効率性の面で後退する。また、外部委託した場合でも、市側の管理部門は必要である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他の事業との関連はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 市組織の改組や新庁舎建設による職員の移動・集約に合わせて、保有台数の削減を実施可能。また、市の事務事業が減少すれば、それに伴い公用車も削減される。除雪車等の自動車共済は、稼働時期である11月から3月までとした。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 具体案はないが、外部委託は可能と思われる。但し、外部委託を行っても、市側に引き続き部門は必要であり、人件費を含めた経費削減につながるかは疑問である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 誰でも利用可能であり、機会は均等であり、公平公正ぶある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近時、緊急経済対策等による短期(1年未満を含む)リース契約が増えており、また、業務委託で車両を貸与する場合、車両保険も相手待ちであったりと、保有状況の実態把握が困難であるケースが増えている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 公用車の利用実態を踏まえて、より適切な公用車配置を実施する。② 公用車の台帳管理のため、貸与車両を含めた全公用車の取得・廃車(リース、委託等含む)時の報告を徹底する。																							